

令和6年度第4回札幌方面赤歌警察署協議会議事概要

1 開催日時

令和7年2月27日（木）午後3時00分から午後4時20分まで

2 開催場所

赤歌警察署 2階大会議室

3 出席者

(1) 協議会委員 6人（定員6人）

会 長 土 肥 隆 則

副 会 長 櫻 庭 敏 夫

委 員 早 坂 みゆき、曾我部 芳子、秦 千映子

佐 藤 友 美

(2) 警察署員 5人

署 長 新 井 伸 昭

副 署 長 畠 山 傑

刑事・生活安全課長 安 江 厚

地域・交通課長兼歌志内交番所長 青 山 功

事務局（警務係長）

4 会長挨拶

5 署長挨拶

6 業務概況説明

(1) 警察安全相談受理状況

(2) 110番受理状況

(3) 刑法犯発生件数

(4) 犯罪抑止啓発活動

(5) 交通事故の発生状況

(6) 交通事故防止対策の状況

(7) その他各種警察活動

7 諮問事項

○ 「マイナンバーカードと運転免許証の一体化について」

委員の意見

【委員】 事業としての車両レンタル等を行う際、これまでは、利用者が提示する運転免許証の記載事項から免許種別等の確認を行っていましたが、マイナンバーカードと運転免許証の一体化により、マイナンバーカードには免許種別等が記載されないとのことでした。

今後、免許種別等を確認するに際して、本人からの自己申告又はマイナポータルで表示してもらう以外で、種別等を確認する方法はないのでしょうか。

【警察】 マイナンバーカードと運転免許証を2枚持ちする方もいらっしゃいますので、そういった方に対しては運転免許証の提示を求めることになろうかと思いますが、マイナンバーカードの1枚持ちの方の確認方法については、次回までに調べて回答いたします。

8 その他の意見と警察の説明

【委員】 高齢者が認知症により徘徊するといった事例は赤平市にも多くあると思いますが、一見して高齢でなくても認知症をお持ちの『若年性アルツハイマー』の方がいらっしゃいます。

こういった方は、一見して認知症を疑うことが難しいので、警察署で落とし物の取扱いなどを受けても、認知症であることに気づかずに対応してしまうと思いますので、認知症であることを理解した上で御対応いただく必要があると思っております。

【警察】 若年性アルツハイマーについては、テレビや新聞等でも報道されており、存じ上げております。

御家族から警察に御相談いただければ、事前に把握し適切に対応することができるかと考えております。

当署では、高齢の認知症の方の取扱いが多く、実際に物が御自宅にあるにも関わらず、「物を盗まれた。」旨の通報をしてしまうといった事例が多く見られます。

こうした通報に関し、警察側では、通報を下された方が認知症か否かが分かりませんので、結果として本当に被害があったのかどうかを判断するのに時間を要してしまいますし、高齢の認知症の方が自宅からいなくなってしまうといった、早急な対応を要

する通報も多くあります。

よって、こうした認知症の方が関わる事案に対して、家族その他関係者への連絡等、早期に適切な対応が図れるよう、今後、市役所、民生委員、ケースワーカー等で情報共有できる機会や仕組みを作っていきたいと考えているところです。

【委員】 携帯電話に、「0800」から始まる電話番号からの着信があったのですが、詐欺の観点から出ない方がいいですね。

【警察】 「0800」に限った話ではありませんが、知らない電話番号からの着信は、詐欺の可能性もあることを念頭に、安易に取らない方が良いでしょう。

知らない番号からの電話は、一度鳴り止むのを待っていただき、表示された番号をインターネットで検索するというのも一つの方法です。

詐欺や迷惑電話などで使用されている番号は、「詐欺電話なので要注意」などとインターネット上で注意喚起がなされている場合が多いので、是非やってみてください。

また、特に国際電話からの着信については、何らかの詐欺の可能性が高いほか、こちらから掛け直すと海外に繋がり高額な料金を請求されたりする場合がありますので十分に御注意願います。

特殊詐欺には様々な手口がありますので、地域の集いなどがあれば、駐在所員が講話に赴き、手口や注意すべき点等についてお話をさせていただきます。

また、そのような着信があれば、警察署や交番・駐在所に気軽に相談していただきたいと思います。